

## デザインと家庭科教育（1）—ホームプロジェクトを事例として— 共立女大家政 ○武井幸子、伊藤紀之

目的 刻々と変わる社会情勢の中で、家政学や家庭科も過渡期を迎えているが、私達の生活に密接に関わっている家庭科教育の果たす役割は、以前にも増して大きいと思われる。本研究では、デザインの立場から家政学・家庭科教育を捉え、その関連性について調査・研究を行うと共に、家庭科教育の中にデザインの視点の可能性を検討することによって、これからの家庭科教育のあり方を考察することを目的としている。

方法 まず、近代デザインと家政学の成立の過程と定義とりあげ、その関連性について検討した。次に、日本における家庭科教育の変遷の中から、デザインの視点を持つと見られるホームプロジェクトに注目し、その経緯・実態を調査した。そして、デザイン方法とホームプロジェクトの関連性を検討した。更にホームプロジェクトの事例研究を通して、家庭科教育の中のデザインの実態把握とデザイン方法の可能性を検討した。以上をふまえて、今後のデザイン教育と家庭科教育のあり方を考察した。

結果 成立・発展の経緯と定義から、デザインと家政学には、いくつかの共通点があることがわかった。又、家庭科教育の中のデザインの視点が、ホームプロジェクトであるということが考察により明かとなり、ホームプロジェクトにデザインプロセスを取り入れることを提案した。これからの家庭科教育のあり方としては、ホームプロジェクトのように、実践力をつける学習をもっと重視し、自ら前向きに考え、行動する姿勢を育てていくことが必要であると考えられる。